

# 第46回繊維工学研究討論会（国際シンポジウム）研究発表募集

## THE 46<sup>th</sup> TEXTILE RESEARCH SYMPOSIUM AT Mt.Fuji

繊維工学研究討論会（国際シンポジウム）は、国内外の繊維工学研究者や技術者間の、繊維工学研究討論や情報交流をはかるために1972年に始まり、Mt.Fuji Conferenceの愛称で親しまれ、本年で46回目を迎えます。会議は英語使用を原則とし、口頭発表およびポスター発表が行われます。例年、国内外から60～100名が集い、30～40論文が討論され、特に若い研究者が著名な海外からの研究者と親しく話せる国際学術交流の場になっています。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

**期 日** 平成30年9月3日(月)～5日(水)

**内 容** 予定

9月3日(月) 登録, 昼食, 研究発表, 討論, Welcome Party

9月4日(火) 研究発表, 討論, ポスター発表, Beer Party

9月5日(水) 研究発表, 討論(午前のみ)の予定, 討論会終了後国際交流会(予定)

**会 場** 帝人アカデミー富士(旧富士教育研修所)(静岡県裾野市下和田656)

JR三島駅より, タクシーご利用の場合, 駅北口より約30分. バスご利用の場合, 駅南口より須山行または遊園地ぐりんば行約45分「帝人アカデミー富士前」下車.

**発表募集セッション**

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 繊維科学と技術            | 6. アパレルの科学と製造技術 |
| 2. 糸及び布の製造技術          | 7. 環境・サステナブル    |
| 3. ナノファイバーとスマートテキスタイル | 8. 風合いと感性評価     |
| 4. 複合材料と工業用テキスタイル     | 9. 繊維とロボティクス    |
| 5. テキスタイルの設計と性能       |                 |

**参加費**

シンポジウム全日程参加(税別, アブストラクト集代を含む)

会員25,000円, 非会員33,000円, テキスタイル科学研究会メンバー22,000円, 学生10,000円

Welcome Party, Beer Party, Coffee breakは無料.

国際交流会(予定): 参加無料, 宿泊が伴う場合有料.

**宿泊食事費**

帝人アカデミー富士: 2名1室で3食含め1泊1名: 10,000円, シングルユースの場合3,000円追加.

※宿泊部屋数に限りがありますので, ご希望に添えない場合がございます. あらかじめご了承ください.

近辺のホテル: ルートイン裾野インター(静岡県裾野市御宿字幕間1532-1), 車で約8分.

**発表申込** 学会HP(<http://tmsj.or.jp/>)よりお申し込みください.

**発表申込締切** 平成30年4月20日(金)

**要 旨** Extended Abstract集を発行します.

サイズ: A4, 1ページ

締 切: 平成30年7月20日(金)

発行日: 平成30年8月27日(月)

Extended Abstract集は, 紙媒体(冊子, カラー印刷)とダウンロード方式(期間限定)による配布を行います. 詳細は学会HPに掲載の要旨(Extended abstract)見本をご参照下さい.

**参加申込** 平成30年7月31日(火)までにお申し込みください.

**その他** (1) 口頭発表1件につき, 発表時間30分(発表15分, 質疑応答15分)を予定しています.

(2) ポスターはA1サイズにて作成してください.

**問合せ先** 日本繊維機械学会 TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

### 第46回繊維工学研究討論会実行委員会

**実行委員長** 井上 真理(神戸大学)

**実行委員** 鋤柄佐千子(京都工芸繊維大学) 田上 秀一(福井大学) 山下 義裕(大阪成蹊短期大学)  
與倉 弘子(滋賀大学)

**アドバイザー** 松平 光男(元金沢大学, カトーテック)

## 「テキスタイルカレッジ」のご案内

### ■「テキスタイルカレッジ」について

本学会は平成8年度から「テキスタイルカレッジ」を開講し、人材の育成に努めてまいりました。それから約20年が過ぎ、繊維や繊維機械に関する学術・技術は大きく発展する一方、繊維産業を取り巻く環境も大きな変貌を遂げてきました。

このような背景を鑑み、「テキスタイルカレッジ」の内容を昨年に見直しました。これまでの「テキスタイルカレッジ」で企図した“繊維・繊維機械産業を担う人材の育成”という目標を継承しつつ、最新の知識・技術を射程に捉えられる基礎的な知識について、より体系的・系統的に学習できる講座です。

### ■「テキスタイルカレッジ」の対象と内容

本講座は、繊維の基礎的な知識を体系的に学ぼうとする職業人や学生を対象としています。特に、繊維関連業務に就いて間もない方や、基礎的な知識について改めて学びなおしたい方、また繊維関連企業への就職を考えている方を対象としています。

そこで、2日間で繊維と布づくりの概要について学習できる「入門」、「糸」、「布」、「製品」それぞれの工程の基礎について学べる「専門講座」を設けました。

一方で、繊維関連業務に従事しながら、さらにその知識を深めたいと考えている方もいらっしゃると思います。そのような既に実務に就いている職業人には「実用」講座を設けるなど、受講者の希望に応じた種々の内容を準備いたしました。

企業など各機関の計画的な人材育成、繊維および繊維機械に関する基礎的な知識の習得・再確認のために、「テキスタイルカレッジ」をご利用下さい。

### 「テキスタイルカレッジ」開講計画

分類	開 講 日	講 座 名	
入門	5/21(月), 5/22(火)	1. 「2日間で学ぶせんいと布づくり」(2日)	
専 門 講 座	糸	6/29(金)	1. 「天然繊維の糸づくり」(0.5日)
		7/20(金)	2. 「化学繊維の糸づくり」(1日)
		12月予定	3. 「合成繊維(実用)」(2日)
	布	9月予定	1. 「組物」(0.5日)
		9月予定	2. 「織物」(1日)
		9月予定	3. 「編物」(1日)
		9/11(火)	4. 「不織布」(1日)
		10月予定	5. 「染色加工」(1日)
		11月予定	6. 「染色加工(実用)」(2日)
	製 品	2月予定	1. 「アパレル製品設計の基本」(1日)
		11-12月予定	2. 「繊維製品の感覚性能-アパレル製品を中心として-」(1日)
		11-12月予定	3. 「実習: 感性評価のための布特性」(1日)
		4/4(水)	4. 「資材用繊維製品」(1日)
		3月予定	5. 「繊維製品の品質管理と品質保証」(1日)

## テキスタイルカレッジ

## 「資材用繊維」

近年、化学繊維は自動車や建築・土木用途などの“産業資材”，そしてカーペットやオムツなどの“衛生・生活資材”といった「資材用繊維」としての利用割合が増大しています。その一方、それぞれの分野で新しい施工法や利用法が開発されるとともに、その用途に応じて要求される機能や性能も異なるため、資材用繊維素材の開発は高度化しています。また、資材用繊維製品の多様化、利用量の増大に伴い、使用後の回収や処理が課題とされるようになってきました。

そこで本講座では、産業資材用繊維に注目し、その種類や機能、性質、そして製法などの基礎について講義します。また、「自動車」「土木・建築」「水産」という産業資材の中核をなす分野については、それぞれの用途で求められる機能や性能について実例をもとに説明します。さらに、使用済み繊維の回収の仕組みやその処理技術についても講義します。多数の方々のご参加をお待ちしております。

**期 日** 平成 30 年 4 月 4 日(水) 10.00～16.30

**会 場** 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28 号出口北へ徒歩 5 分）

**内 容** 予定

10.00～11.00

(1) 資材用繊維概論（分類／機能／性質／繊維形態・構造体／製法など）

..... 福井大学 学術研究院 工学系部門 教授 田上 秀一

11.10～12.10

(2) 資材用繊維の用途と機能

2-1 自動車分野

..... トヨタ紡織(株) 繊維開発部 山田 昌平

13.10～14.10

2-2 土木・建築分野

..... キョーワ(株) 開発・技術部 本部長 梶原 幸治

14.20～15.20

2-3 水産分野

..... ユニチカ(株) 理事 繊維事業本部 事業部長 迫部 唯行

15.30～16.30

(3) 資材用繊維と環境（使用済み繊維の回収・廃棄等の現状、そしてリサイクルなどの技術について）

..... 繊維リサイクル技術研究会委員長、京都工芸繊維大学名誉教授 木村 照夫

**協 賛** 大阪染色協会

**定 員** 30 名（定員になり次第締め切らせていただきます）

**参加費** 会員 15,000 円、協賛学協会員 15,000 円、非会員 23,000 円、学生会員 3,000 円、学生非会員 5,000 円（税別）

**申 込** テキスタイルカレッジ資材用繊維と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス）、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

**テキスタイルカレッジ****2日で学ばせんと布づくり** .....

テキスタイルカレッジシリーズの入門編として、繊維工学を系統的に学ぶ機会の少なかった新入社員の方、新しく繊維業務に携わられる方などを対象に、2日間でせんと布づくりの大まかな流れ・基本的用語等を理解できるように企画しました。

企業や大学で既に繊維業務に携わっておられる方にとっては、繊維と繊維製品の製造、性能、用途について再認識していただく場になればと思います。関係各位、多数の方々のご参加をお待ちしています。

**期 日** 平成30年5月21日(月)、22日(火)

**会 場** 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

**内 容** 予定

**1日目【5月21日(月)】**

- (1) テキスタイル概論 (9.30~10.40)  
..... 京都工芸繊維大学 繊維学系 教授 鋤柄佐千子
- (2) 繊維の材料 (天然繊維と化学繊維の種類, 構造と性質) (10.50~12.20)  
..... 京都工芸繊維大学 繊維学系 教授 山根 秀樹
- (3) 糸 (13.20~14.30)  
..... (株)豊田自動織機 繊維機械事業部 技術部 紡機技術室 第1G 尾関 正道
- (4) 織物 (14.40~15.50)  
..... 金沢大学 理工研究域機械工学系 教授 喜成 年泰
- (5) 編物 (16.00~17.10)  
..... 福井県工業技術センター 繊維研究グループ 柳生 智章
- (6) 環境 (17.20~18.30)  
..... 繊維リサイクル技術研究会委員長, 京都工芸繊維大学名誉教授 木村 照夫

**2日目【5月22日(火)】**

- (7) 不織布 (10.00~11.30)  
..... 日本繊維機械学会フェロー, 日本不織布協会顧問 矢井田 修
- (8) 染色加工 (12.30~14.00)  
..... 元鐘紡, 改森技術士事務所 改森 道信
- (9) アパレル (14.10~15.20)  
..... (株)レフトバンク 取締役 岡 卓之
- (10) 産業資材 (15.30~16.40)  
..... クラレ西条(株) ベクトラン生産技術部 課長 小林 利章
- (11) 修了証贈呈式 (16.40~16.45)

**協 賛** 大阪染色協会, 関西ファッション連合

**定 員** 50名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

**参加費** 会員25,000円, 協賛学協会員25,000円, 非会員33,000円, 学生会員5,000円, 学生非会員7,000円 (税別)

**申 込** 「テキスタイルカレッジ2日で学ばせんと布づくり」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス), ④会員種別, ⑤交流会 (無料) への参加有無を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

**テキスタイルカレッジ**

**「天然繊維の糸づくり」**

紡績分野に携わっておられる方々のみならず、織編、染色加工、アパレル等の分野で、糸に関する知識を得たいと思っておられる方々には最適のカレッジです。

多数の方々のご参加をお待ちします。

**期 日** 平成 30 年 6 月 29 日(金) 10.00~16.55

**会 場** 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

**内 容**

10.00~11.30

(1) 天然繊維概論 (人間と繊維, 衣料用天然繊維の特徴, 性能と主な用途など)

..... 滋賀大学 教育学部 教授 與倉 弘子

12.30~14.30

(2) 糸づくり概論 (紡績糸の製造工程, 糸の種類, 構造, 番手, 撚り)

..... 岐阜大学名誉教授, 日本繊維機械学会フェロー 岡村 政明

14.45~15.45

(3) 紡績糸の製法 (打綿~巻き取り)

..... (株)豊田自動織機 繊維機械事業部 技術部 紡機技術室 第 1G 安藤 友亮

15.55~16.55

(4) 紡績工程における品質欠点と最終製品への影響

..... 村田機械(株) 繊維機械事業部, 日本繊維機械学会フェロー 松本 龍守

**協 賛** 大阪染色協会, 関西ファッション連合

**定 員** 30 名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

**参加費** 会員 15,000 円, 協賛学協会員 15,000 円, 非会員 23,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

**申 込** 「テキスタイルカレッジ天然繊維の糸づくり」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

**申込先** 日本繊維機械学会スマートテキスタイル研究会係  
〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル  
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

**企画委員会**

<b>委員長</b>	中西 康雅 (三重大学)		
<b>副委員長</b>	倉敷 哲生 (大阪大学)	東山 幸央 (兵庫県立工業技術センター)	松崎 健 (ミズノ)
<b>企画委員</b>	青谷実知代 (神戸松蔭女子学院大学)	伊藤 智樹 (ボーケン品質評価機構)	稲富伸一郎 (東洋紡)
	内丸もと子 (テキスタイルデザイナー)	岡田 英基 (東レ)	小川 敦久 (クラレ)
	奥野 智朗 (住江織物)	奥林 里子 (京都工芸繊維大学)	佐久間 淳 (京都工芸繊維大学)
	佐藤 克成 (奈良女子大学)	滋野 治雄 (帝人)	杉山 研志 (TMT マシナリー)
	筒井久美子 (村田機械)	中根 幸治 (福井大学)	西田 裕紀 (関西ファッション連合)
	野田 博文 (トヨタ紡織)	馬場武一郎 (日本毛織)	原 茂 (豊田自動織機)
	伴場 秀樹 (津田駒工業)	廣澤 覚 (京都市産業技術研究所)	深沢太香子 (京都教育大学)
	堀場 洋輔 (信州大学)	森島 英暢 (倉敷紡績)	山田 博夫 (ユニチカトレーディング)
	山田由佳子 (大阪教育大学)	山本 温子 (カトーテック)	若松 栄史 (大阪大学)
<b>アドバイザー</b>	宇治 光洋 (ダイセン(繊維ニュース))	木村 照夫 (元京都工芸繊維大学)	武内 俊次 (福原産業貿易)
	中村 信 (ダイキン工業)	藤井 明彦 (繊維評価技術協議会)	松下 義弘 (京都工芸繊維大学)
	六田 克俊 (高知県立紙産業技術センター)		

## テキスタイルカレッジ

## 「化学繊維の糸づくり」

さまざまな化学繊維の製造法について、基礎から先端技術までを平易に解説する講座を開催します。本講座では、まず繊維の分類と各々の繊維の製造法について概要を述べた後、高分子科学的な観点からの、糸づくりの基礎・繊維の性質の基礎についても言及します。さらに、再生繊維と合成繊維について、製造法の基礎と開発経緯、さらには、技術的工夫による高性能・高機能化につき、古典的なものから最先端技術までを、現場技術の観点から平易に解説します。

繊維の製造に関わる科学者・技術者ばかりでなく、普段さまざまな繊維を扱う方々にとっても、その製法の概要を理解しておくことは、繊維の性質を深く理解することに繋がるため極めて重要です。多数の方々のご参加をお待ちしています。

**期 日** 平成30年7月20日(金) 10.00~17.50

**会 場** 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

**内 容**

## (1) 化学繊維概論 (10.00~11.00)

- ..... 東京工業大学 物質理工学院 材料系 教授 鞠谷 雄士
- ・繊維の分類 (天然繊維・化学繊維)
  - ・化学繊維の分類 (再生繊維・半合成繊維・合成繊維・無機繊維)
  - ・化学繊維の基本的な性質と化学構造の関係 (熱特性, 水分特性)
  - ・糸の, 太さ, 強さなどの表記法
  - ・糸の種類 (フィラメント, ステープル, 撚糸)
  - ・布帛構造 (織・編, 不織布)

## (2) 化学繊維の糸づくり概論 (11.10~12.30)

- ..... 東京工業大学 物質理工学院 材料系 教授 鞠谷 雄士
- ・化学繊維製造工程の概要 (原料から製品まで)
  - ・化学繊維のつくり方 (紡糸, 延伸, 熔融紡糸, 溶液紡糸 (湿式, 乾式, 半乾半湿式))
  - ・材料の性質と製造条件の違い (ポリエステルとポリプロピレン, 繊維構造形成)
  - ・さまざまな化学繊維製造技術 (スパンボンド, メルトブロー, フラッシュ紡糸, 電界紡糸等)

## (3) 再生繊維の糸づくり (13.30~15.00)

- ..... 元旭化成 溝口 隆久
- ・湿式紡糸の基礎と開発経緯
  - ・ビスコースレーヨンとキュプラの紡糸技術の違い
  - ・生産工程と製法・条件
  - ・生産性向上, 高機能化, 機能付与

## (4) 合成繊維の糸づくり (15.10~16.40)

- ..... 元東レ 齋藤 磯雄
- ・熔融紡糸の基礎と開発経緯 (従来法, POY-DTY, 超高速熔融紡糸等)
  - ・さまざまな機能性繊維の糸づくり
  - ・断面形態: 異形断面, 中空, 異収縮混織, 細 De, モノフィラメント
  - ・複合化技術: 芯・鞘, 海島, 極細繊維, 導電性等,
  - ・材料の改質: 共重合, カチオン可染, アルカリ減量
  - ・産業用繊維の製法と高性能化

## (5) 紡糸・延伸工程における品質欠点と最終製品への影響 (16.50~17.50)

- ..... 未定

**定 員** 30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

**参加費** 会員 15,000円, 協賛学協会員 15,000円, 非会員 23,000円, 学生会員 3,000円, 学生非会員 5,000円 (税別)

**申 込** テキスタイルカレッジ化学繊維の糸づくりと明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

**申込先** 日本繊維機械学会  
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル  
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

東海支部 **岐阜県産業技術センター繊維講演会・研究成果発表会** .....

**日時** 平成30年4月18日(水) 13.00~16.45  
**会場** 岐阜県産業技術センター 3F 講堂 (岐阜県羽島郡笠松町北及 47)  
**内容**

1. あいさつ
2. 講演 (13.10~14.20)  
「人の温熱生理と衣服の快適性」  
..... 文化学園大学 名誉教授 田村照子  
快適なアパレル製品開発にあたり、暑さ寒さ対策は非常に重要な要素です。温熱的な面で快適性を実現するためには、人の体温調節、温冷・蒸れに対する感受性などの生理反応を理解した上で設計し、また、適切な方法で製品の性能評価をすることが重要です。本講演では、被服衛生学で日本を代表する研究者の一人である先生をお招きし、人の温熱に関する生理反応や、性能評価手法、研究事例などについてお話しいたします。
3. 研究成果発表会 (14.30~15.15)
  - (1) 「軽量・高保温性繊維素材の開発」  
..... 主任専門研究員 中島孝康  
羽毛の代替となるような軽量で保温性の高い繊維素材の開発を目指して試作を行った。
  - (2) 「炭素繊維複合材料 (CFRP) 用繊維状中間材料の開発」  
..... 主任専門研究員 林 浩司  
マトリックス樹脂にポリプロピレンを使用した炭素繊維複合材料の物性を向上させるため、炭素繊維をポリプロピレン繊維でカバーリングした繊維状中間材料において、接着性・含浸性を向上させる検討を行った。
  - (3) 「美濃和紙を用いた機能性紙糸の開発」  
..... 主任専門研究員 山内寿美  
美濃和紙に木質系粉末を混入し、機能性を持った紙糸を作製しました。その紙糸によるニットについて官能実験による評価を行った。
4. 新規導入設備等の紹介 (15.25~15.45)
  - (1) 「繊維部の事業について」  
..... 繊維部長 奥村和之
  - (2) 「炭素繊維対応見本織機『織華』について」  
..... (株)トヨシマビジネスシステム P&E 事業部西日本支店 支店長 杉山俊輔
5. 新規導入機器及び所内見学 (希望者のみ) (15.45~16.45)

**主催** 岐阜県産業技術センター, 日本繊維機械学会東海支部

**参加費** 無料

**締切** 平成30年4月15日(月)

**申込** 企業名・機関名, 住所, TEL・FAX, 所属部課・役職, 氏名をご記入の上, 下記宛お申し込み下さい。

**問合せ・申込先** 岐阜県産業技術センター 繊維部 奥村・立川  
TEL.058-388-3151, FAX.058-388-3155

## 衣coromo@未来研究会設立総会

此度、日本繊維機械学会では、衣 coromo @未来研究会（ころもみらい研究会）を立ち上げることになりました。設立総会及び記念交流会を開催いたしますので、ご興味のある方は奮ってご参加ください。

繊維産業の未来を考える上で大切なのは、繊維技術の進歩や発展という範囲だけでなく、遠い未来の社会や暮らしを見据えた上で、直近の十数年後の繊維産業のビジョンを捉えることです。遠い未来の社会や暮らしを幅広く研究調査し、この展望をもって、日本の繊維産業の未来技術の方向性や指標を示すことを目的に、本研究会を設置いたします。

**日時** 平成30年4月14日(土) 14.00~19.00

**会場** 大阪科学技術センター（大阪市西区靉本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

### 内容

14.00~14.15 設立総会

14.20~15.20 基調講演

「未来につながる“衣”の歴史」

..... 京都工芸繊維大学 名誉教授 前川善一郎

人類は、直立2足歩行を始めて600万年の長い歴史を有している。人類は、生存のために衣食住に対し色々な工夫をして世代をつないできた。人類は、これから続く未来においても色々な工夫を加えていこう。ここでは、“衣”に焦点を当てて、人類の過去の歩みを学び、未来につなぐ思考の一助にする。

15.30~17.00 パネルディスカッション

テーマ「いったいどうなる 未来の“衣” coromo」

17.15~19.00 交流会

**定員** 50名（定員になり次第締め切らせていただきます）

**参加費** 設立総会無料、交流会5,000円（税別）

**申込** 「衣 coromo @未来研究会設立総会」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）、④会員種別、⑤交流会（有料）への参加有無を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会HPより申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靉本町1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

### 染色加工研究委員会

**委員長** 上甲 恭平（椋山女学園大学）

**運営委員** 伊藤 博（イトービーイーオフィス）

今田 邦彦（今田技術士事務所）

上坂 貴宏（京都市産業技術研究所）

上野 清隆（日阪製作所）

榎本 雅穂（京都女子大学）

岡田 倫子（滋賀県東部工業技術センター）

奥林 里子（京都工芸繊維大学）

越智 清一（元繊維評価技術協議会）

改森 道信（改森技術士事務所）

金崎 英夫（金崎技術士事務所）

桑原 里実（椋山女学園大学）

嶋田幸二郎（嶋田技術士事務所）

解野 誠司（和歌山県工業技術センター）

長澤 則夫（元日本羊毛産業協会）

橋本 嘉顯（東洋紡カンキョーテクノ）

廣垣 和正（福井大学）

松原 孝典（産業技術短期大学）

森本 國宏（森本技術士事務所）

安永 秀計（京都工芸繊維大学）

吉川 雅敏（東洋紡）



北陸支部 **共済行事 平成30年度繊維学会北陸支部学術普及講演会**

モノとインターネットを繋げることにより、新たなビジネスの創出や作業工程の短縮となるようなIoT（さまざまなモノがインターネットに繋がる）社会が急速に広がっています。日本の繊維業界もIoT社会を見据えて進化しており、メーカーにとって高度な繊維素材の開発および繊維素材を使用した事業化は重要な課題の一つとなっております。今回の講演会では、ウェアラブル分野で使用される導電性繊維素材やスマートテキスタイル製品の開発の現状と今後の展開等について講演いただきますので、是非ご参加下さい。また、4月19日～21日は、福井県工業技術センターの一般公開が開催されており、研究成果の展示や最新導入機器の実演を行いますので併せてご参加ください。

**日時** 平成30年4月19日(木) 13.00～16.20

**会場** 福井県工業技術センター講堂（福井県福井市川合鷺塚町 61-10）

**内容** IoTと繊維－進化するIoT社会へ向けて－

開会挨拶（13.00～13.05）

..... 繊維学会北陸支部長 末信一郎

(1) 健康リスク管理のためのスマート衣料「Smartfit®」とサイバーフィジカルシステム（13.05～13.50）

..... 大阪大学大学院 基礎工学研究科 機能創成専攻 清野 健

(2) 刺繍分野におけるIoTへの取り組み（13.50～14.35）

..... タジマ工業(株) マーケティング部 田島 良

(3) ウェアラブルを支える銀めっき導電性繊維“AGposp”（14.45～15.30）

..... ミツフジ(株) 三寺秀幸

(4) スマート消防服を用いた安全警報システム（仮）（15.30～16.15）

..... 帝人(株) マテリアル技術本部 ソリューション開発センター 林 宏和

閉会挨拶（16.15～16.20）..... 福井県工業技術センター 化学・繊維部長

**主催** 繊維学会北陸支部

**共催** 日本繊維機械学会北陸支部，日本繊維機械学会テクテキスタイル研究会，福井県繊維技術協会，福井県工業技術センター

**定員** 120名

**参加費** 1,000円（資料代として）

**申込** 企業名・機関名，住所，TEL・FAX，所属部課・役職，氏名をご記入の上，4月13日（金）までに下記宛お申し込み下さい。

**問合せ・申込先** 福井県工業技術センター 化学・繊維部 川端清二

TEL：0776-55-0664，FAX：0776-55-0665，E-mail: s-kawabata@fklab.fukui.fukui.jp

福井大学 大学院工学研究科 植松英之

TEL：0776-27-9952，FAX：0776-27-8767，E-mail:uematsu@matse.u-fukui.ac.jp

支部長	
関東支部長	河原 豊（群馬大学）
信越支部長	西松 豊典（信州大学）
東海支部長	太田 幸一（岐阜市立女子短期大学）
北陸支部長	田上 秀一（福井大学）
中国支部長	筒井由紀子（福山市立女子短期大学名誉教授）

## 関東支部 見学会のご案内

関東支部では、かつて東の西陣と呼ばれた群馬県桐生地域において、伝統織物工房と繊維関連施設の見学会を企画しています。奮ってご参加下さい。

**期日** 平成30年4月27日(金) 13.00～

**見学先** 桐生織伝統工芸士 泉 太郎氏 工房 他

**集合場所** 桐生市市民文化会館前 (群馬県桐生市織姫町2-5, JR桐生駅下車 徒歩7分)

地図：<http://www.kiryu-piif.jp/>

### 内容

見学ルート

13.30 市民文化会館発 → 泉織物 (見学1時間) → 群馬県繊維工業試験場 (見学1時間)

→ 桐生駅南口 16.40 → 新桐生駅 17.00

当日、泉氏から桐生織物のミニ講演が、予定されております。ご参加下さい。

場所：桐生市市民文化会館4階, スカイホールB, 11.40～12.00

**定員** 20名

**参加費** 無料

**申込・問合せ先** 可能な限り E-mail でお願いします。

河原 豊 (Tel/Fax: 0277-30-1491, kawahara@gunma-u.ac.jp)

群馬大学 理工学部 環境創生部門

〒376-8515 桐生市天神町一丁目5番1号

**その他** 申し込みの際は、参加人数、連絡先メールアドレスを必ずお知らせ願います。

## 研究会

繊維機械研究会	委員長	喜成 年泰 (金沢大学)
テクテキスタイル研究会	委員長	増田 敦士 (福井県工業技術センター)
不織布研究会	委員長	矢井田 修 (日本不織布協会 顧問)
コンポジット研究会	委員長	中村 崇人 (藤倉ゴム工業(株))
繊維リサイクル技術研究会	委員長	木村 照夫 (京都工芸繊維大学名誉教授)
テキスタイル科学研究会	委員長	鋤柄佐千子 (京都工芸繊維大学)
企業心理と消費者心理研究会	委員長	辻 幸恵 (神戸学院大学)
ナノファイバー研究会	委員長	山下 義裕 (大阪成蹊短期大学)
バーチャルテキスタイル研究会	委員長	横山 敦士 (京都工芸繊維大学)
衣 coromo 未来 @ 研究会	委員長	中村 信 (株)テムザック 中央研究所)
スマートテキスタイル研究会 (※)	委員長	堀 照夫 (福井大学)

※スマートテキスタイル研究会は、3学会(繊維学会, 日本繊維機械学会, 日本繊維製品消費科学会)で運営しています。

## お知らせ JTCC平成30年度技術士第一次試験受験講習会

技術士法に基づいて行われる技術士第一次試験（平成30年度の試験日は10月7日）の受験を支援するために、日本繊維技術士センター（JTCC）では、以下のとおり、大阪、名古屋、東京、福井で受験対策講習会を開催します。多数の方に参加いただきたくご案内します。

### 大阪会場

【講義】5月19日、26日、6月2日、9日、16日、23日、30日（土）計7日間、9時30分から17時

【模擬試験】8月25日（土）9時30分から15時まで

【会場】JTCC 本部事務所内（大阪府中央区備後町3-4-9 輸出繊維会館6階）

### 名古屋会場

【講義】6月9日、16日、23日、30日（土）計4日間、9時30分から17時

【模擬試験】8月25日（土）9時30分から15時

【フォローアップスクーリング】9月8日（土）9時30分から12時40分

【会場】JTCC 東海支部榑木町事務所（名古屋市東区榑木町1-1）

### 東京会場

【講義】6月16日、23日、30日、7月7日（土）計4日間、9時30分から17時30分

【模擬試験】8月25日（土）9時30分から15時

【模擬試験フォローアップ】9月9日（土）10時から15時まで

【会場】JTCC 関東支部事務所（東京日本橋小伝馬町滋賀ビル506号）

### 福井会場

【講義】6月23日、30日、7月7日（土）の計3日間（ただし専門科目のみ）、9時00分から17時

【模擬試験】8月25日（土曜日）9時30分から15時（全科目を実施）

【会場】福井県中小企業産業大学校（福井市六条町16-15）

【講師】JTCC 会員を中心に、各分野の経験豊富な専門技術者が担当します。

【その他】遠隔地ないし勤務などの都合で、講義に参加できない方については、通信教育でのご指導も可能です。ご希望の内容により、詳細を相談させていただきます。

詳細はJTCCのホームページをご覧ください。

## お知らせ 2018年TES 試験の実施計画

繊維製品品質管理士（Textiles Evaluation Specialist = TES）は、昭和56年度に通商産業省の告示（平成9年12月18日廃止）に基づいて生まれたもので、消費者に供給される繊維製品の品質・性能の向上を図ったり、繊維製品の品質について消費者からクレームが出ないように、それらの製品の製造や販売を行う企業のなかで活躍するスペシャリストです。その狙いは企業活動の合理化、消費者利益の保護、企業と消費者の信頼関係の改善にあります。

【試験日】平成30年7月15日（日）

【日程】4月1日 要項発表

5月1日～5月20日 出願の受付期間

9月中旬 試験結果発表

11月1日 認定証の交付

【試験会場】東京試験場：文化学園大学

名古屋試験場：相山女学園大学

関西試験場：京都女子大学

福井試験場：福井大学 文京キャンパス

倉敷試験場：倉敷ファッションセンター／倉敷市児島産業振興センター

福岡試験場：福岡商工会議所

【受験資格】学歴・年齢を問わず誰でも受けることができます。

【その他】詳細は一般社団法人日本衣料管理協会のHPをご参照下さい。

## お知らせ FMC4月度セミナー

FMC（ファッション素材センター）の4月度セミナーは、下記により開催されます。非会員でもビジターとして参加できます。ご関心のある方はお申込み下さい。

詳しくは FMC のホームページ ([http://www.geocities.jp/fmc\\_webpage/](http://www.geocities.jp/fmc_webpage/)) をご参照下さい。

**期 日** 平成 30 年 4 月 6 日(金) 18.15~20.00

**会 場** 大阪産業創造館 6F 研修室 AB (大阪市中央区本町 1-4-5)

**内 容** 大規模災害発生時の『衣』の支援

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の被災地では世界中から様々な支援が届きました。私はトラックに業務用の洗濯機一式を積んで宮城県多賀城市の避難所で約 1 か月洗濯支援を行いました。被災地で経験し、感じた問題点をお話しします。後半は、いつ起こるか分からない災害に対して、被害を最小限に抑えるための『備え』について考えていこうと思います。『衣』業種交流で出来ることを探るパネルディスカッションを行います。

**講 師** (株) TOSEI 洗機開発課 繊維製品品質管理士・クリーニング師 須田 雅太郎

**参加費** ビジター会員 2,000 円。当日受付にてご納入下さい。[会員は年 11 回のセミナー (10 月は見学会) に無料で参加できます。年会費 12,000 円でどなたでも会員になれます。]

**申 込** 「FMC4 月度セミナー」と明記し、①氏名、②住所、③電話または FAX 番号をご記入の上、3 月 30 日 (金) までに E-mail にてお申し込み下さい。

**申込先** 武庫川女子大学短期大学部 生活造形学科内 FMC 事務局  
E-mail : [fmc.office.mail@gmail.com](mailto:fmc.office.mail@gmail.com)



### 内外の全繊維・全加工段階のデータ・資料を収録 2018 年版『繊維ハンドブック』

<B6 判 約 360 頁 (CD-ROM 付) 定価 (8,334 円 + 税 666 円) 送料当方負担 >

日本と世界の最新の繊維データバンクとして定評のある『繊維ハンドブック』の「2018 年版」が、このほど発行された。1959 年の初版から数えると、54 回目の刊行に当たり、毎回、細部にわたる見直しと増補が行われてきた。日本と主要国の繊維原料から素材、テキスタイル、アパレル、流通、消費に至るまでの全繊維、全加工段階の最新のデータ・資料が系統立てて収録されており、文字どおり“繊維のことなら何でも分かる”ハンドブックとなっている。

「国内統計編」「国際統計編」「資料編」の 3 部構成で、全体を通じて既刊内容との継続性に細かい配慮が払われている。さらに、「国内統計編」「国際統計編」は Excel 形式で「資料編」は PDF 形式で、全てのデータを CD-ROM に収録して、使いやすさの便を図っている。繊維業界に携わっている人にはもちろん、繊維を研究、あるいは繊維に関心を持っている人にとっても活用範囲は誠に広い。

お問い合わせ・お申込みは、日本化学繊維協会まで。

東 京 / 〒 103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-1-11 (繊維会館)  
TEL (03) 3241-2313 FAX (03) 3246-0823  
<http://www.jcfa.gr.jp>

なお、日本国外からの購入申込みについては丸善雄松堂にお問い合わせ下さい。

Maruzen-Yushodo Co., Ltd.  
Export Department  
phone : 81-3-4335-9316 fax : 81-3-4335-9368  
E-mail : [export@maruzen.co.jp](mailto:export@maruzen.co.jp)



# (一社) 日本繊維機械学会 会費減免規程

## (目 的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本繊維機械学会会費規程第2条第2項に基づき、一般社団法人日本繊維機械学会（以下「本会」という）の組織強化のために、正会員の会費年額の減免措置について定める。

## (定 義)

第2条 この規程における「従業員」の定義は、下記に定めるところによる。  
「従業員」とは、正規、非正規関係なく企業・団体と直接雇用契約を結び、業務に従事する者をいう。

## (年会費の減免)

第3条 本会の正会員の会費年額が8,000円であることは、会費規程第2条に明記されているが、以下のいずれかに該当する者については、本人からの申請により下記の減免措置を受けることができる。

- 1 ゴールド割引：本会の賛助会員または維持会員の従業員が本会の正会員となるとき、あるいは本会の正会員が賛助会員または維持会員の従業員である場合は、会費年額を2,000円とすることができる。但し、この減免措置を受けることのできる正会員数は、賛助会員1口につき10名、維持会員1口につき30名を上限とする。
- 2 シルバー割引：本会の正会員、あるいは賛助会員または維持会員の従業員で満65歳を越え且つ下記の在籍年数が5年以上ある場合には、会費年額を2,000円とすることができる。
  - ①本会の正会員としての在籍年数
  - ②賛助会員または維持会員の従業員としての在籍年数
  - ③上記①、②を合算した在籍年数
- 3 ブロンズ割引：本会に正会員として初めて入会したときは、1年間の会費年額を4,000円とすることができる。但し、年度の途中において入会した場合は、会員になった初年度の会費及び翌年度の会費について適用する。

## (最低額の会費年額の適用)

第4条 本会の正会員が前条の2つ以上の事項に該当した場合は、その内最も低額の会費年額が適用される。

## (減免の時期)

第5条 年度途中で第2条の減免理由が発生した場合においても、会費規程第3条の「前納」の原則は優先されるものとする。また、すでに納入された会費は返還しない。

## (改 廃)

第6条 この規程は、理事会の決議によって変更することができる。

## (附 則)

この規定は平成29年11月11日より施行する。

### 情報化委員会

委員長	武内 俊次 (福原産業貿易)		
委員	中西 康雅 (三重大学)	保田 和則 (愛媛大学)	山下 義裕 (大阪成蹊短期大学)
	横山 敦士 (京都工芸繊維大学)		

## 【現状の会費規定】

会員種別	資格	会費
1. 名誉会員	個人	無料
2. 正会員	個人	8,000 円
3. 学生会員	在学中の学生	2,000 円
4. 賛助会員	団体、個人	95,000 円
5. 維持会員	団体、個人	280,000 円

## 【新しい会費減免規定（平成 30 年度年会費より適用）】

会員種別	資格	減免種別	年会費	減免資格内容
1. 名誉会員	個人	-	無料	-
2. 正会員	個人	-	8,000 円	-
		ゴールド割引	2,000 円	維持会員あるいは賛助会員の従業員が本会の正会員である場合
		シルバー割引	2,000 円	満 65 歳以上の正会員で下記の在籍年数が 5 年以上である場合 ① 本会の正会員としての在籍年数 ② 賛助会員または維持会員の従業員としての在籍年数 ③ 上記①、②を合算した在籍年数
		ブロンズ割引	4,000 円	本会に初めて正会員として入会した場合（年度途中で入会の場合は翌年にも適用）
3. 学生会員	在学中の学生	-	2,000 円	-
4. 賛助会員	団体、個人	-	95,000 円	-
5. 維持会員	団体、個人	-	280,000 円	-

## 【繊維産業活性化委員会（繊維・未来塾）】

<b>塾長</b>	松田 正夫（元大阪繊維リソースセンター社長）		
<b>副塾長</b>	近藤 健一（大正紡績㈱ 繊維事業本部長 兼 東京営業所長）	松尾 憲久（マツオインターナショナル㈱ 代表取締役社長）	
	八代 芳明（東海染工㈱ 取締役会長）	山下 雅生（㈱エイガールズ 取締役会長）	
<b>幹事</b>	松下 義弘（京都工芸繊維大学 繊維科学センター 特任教授）		
<b>運営委員</b>	糸井 弘一（関西ファッション連合 戦略室 特命担当）	宇治 光洋（ダイセン㈱（繊維ニュース）編集グループ記者）	
	臼谷旗世彦（大津毛織㈱ 代表取締役）	貝原 良治（カイハラ㈱ 代表取締役会長）	
	北丸 豊（豊栄繊維㈱ 代表取締役社長）	桑名 紀夫（日本パーソナルカラー協会 顧問）	
	高澤 史納（高澤織物㈱ テキスタイルデザイナー）	高杉 哲朗（㈱ショーワ 代表取締役社長）	
	辰巳 雅美（辰巳織布㈱ 代表取締役社長）	山本 敏明（西染工㈱ 代表取締役）	
	米倉 勝久（㈱タカラ 代表取締役会長）	渡邊 利雄（渡辺パイル織物㈱ 代表取締役社長）	

一般社団法人日本繊維機械学会 正会員 会費減免申請書

		申請日	年 月 日
(フリガナ) 会員氏名		生年月日	年 月 日
勤務先所在地	〒		
勤務先名称			
役職および 所属部課名			
電話			
E-mail			
自宅住所	〒		
連絡事項			
減免種別 (○印でかこむ)	ゴールド割引 ・ シルバー割引 ・ ブロンズ割引		
承認期日 (事務局記入)	年 月 日 印		

# 日本繊維機械学会「Journal of Textile Engineering」

2018年1月より、日本繊維機械学会「Journal of Textile Engineering」の原稿の種類を、以下の様に変更・新設しました。

旧	新
Original Paper	Original Paper
Note	Short Paper
Review	Review
新設	Technical Report

## 一般論文 (Original Paper) :

繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して独創性・新規性のある未刊行の論文であり、信頼性が高く新しい価値ある結果を得ているもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり8頁以内とする。

## 短報 (Short Paper) :

一般論文と同様に繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して未刊行の論文であり、萌芽的、断片的研究ではあるが信頼性が高く価値ある結果を得ているもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり4頁以内とする。

## 技術報告 (Technical Report) :

繊維または繊維機械に関連する技術に関する未刊行の報告で、信頼性が高く新しい価値ある結果を得ており、繊維技術と繊維産業の発展に貢献する技術を公表することを重視したもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり6頁以内とする。

## レビュー (Review) :

繊維または繊維機械に関連する科学・工学・技術に関する最近までの研究や開発動向、将来展望を、過去の論文や報告を数多く引用してまとめた未刊行のもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり8頁以内とする。

## ジャーナル編集委員会

委員長	木村 裕和 (信州大学)		
副委員長	保田 和則 (愛媛大学)	山本 貴則 (大阪産業技術研究所)	
編集委員	井上 真理 (神戸大学)	上田 博之 (大阪信愛女学院短期大学)	
	植松 英之 (福井大学)	金井 博幸 (信州大学)	
	金田 直人 (福井工業高等専門学校)	小柴 孝 (奈良工業高等専門学校)	
	近藤 幹也 (東京都立産業技術研究センター)	坂口 明男 (信州大学)	
	廣垣 和正 (福井大学)	松岡 敏生 (三重県工業研究所)	
	向井 康人 (名古屋大学)	安永 秀計 (京都工芸繊維大学)	
	山下 義裕 (大阪成蹊短期大学)	山本 剛宏 (大阪電気通信大学)	
	與倉 弘子 (滋賀大学)	横山 敦士 (京都工芸繊維大学)	